



茗溪 かながわ

MEIHEI KANAGAWA

NO.18

発行 神奈川茗溪会（旧 茗溪会神奈川支部） 発行者 大畑多津雄

令和4（2022）年 6月

茗溪かながわ 第18号の 発行に際して

矢野前会長から引き継いだ4年間

神奈川茗溪会会長 大畑 多津雄

振り返れば、矢野前会長から引き継いだ4年間には、いろいろなことがありました。

まず最初に思い起こされるのは、筑波大学が箱根駅伝を走ったことです。時期を同じくしてちょうど大河ドラマ「いだてん」で「嘉納治五郎と金栗四三」にスポットが当たったこともあり、筑波大学の箱根駅伝出場は、茗溪全体にとって夢のようなニュースでした。ただそれは箱根駅伝のコースのかなりの部分が神奈川県内であることから、神奈川茗溪会の重責は避けられないものとなりました。筑波大学、陸上部OB・OG、茗溪会本部と連携し、神奈川県内のどのポイントに集まって応援するのか、応援グッズはどうするのか、応援参加はどのように募るか、各ポイントで応援に参加する者の把握など、本番当日まで準備に追われたことを昨日のことのように思い出します。各ポイントには全国

に散らばっている卒業生が集い、目の前を走り去っていく筑波大学の選手に、その姿が見えなくなるまで応援の声をあげていました。多くのOB・OGに支えられてやり遂げることができた駅伝応援、そこには見ず知らずの者同士が同窓の思いだけで打ち解けて一つになれる幸せなひと時がありました。皆さんに支えられて駅伝応援を無事実施できたことに感謝します。

苦しい思い出は、コロナによる影響です。いつも7月に実施してきた総会は、会員の皆さんが旧交を温めることのできる数少ない機会です。会員も高齢化してきている状況下で、従来の対面での実施はとても困難でありました。当初2年の会長職を予定していましたが、総会を書面会議で開催することしか実施できなかったことから、会員の皆様方には組織の体制を変えることなくそのまま継続すること、ご承認をいただきまし

若手の会

森 麻夫

（H13筑教院）



た。また安定した会費の維持が困難になったことから、年会費の納入に合わせて、御芳志をお寄せいただく方式を導入したり、返信葉書による総会への参加・不参加の確認も料金後納郵便を活用したり、いろいろなアイデアを駆使して会の運営に取り組んできました。今後とも会員の減少が予想される中、なんとか会を活性化し、これまで脈々と流れてきた「茗溪の水」を絶やすことなく後世につなげていきたい、そう願うばかりであります。

去る令和三年十一月二十日（土）、今回で第十回となる若手交流会が中華料理「大陸」で開催されました。

緊急事態宣言は解除されたとはいえ、新型コロナウイルスの動向にまだまだ予断を許さない状況であることをふまえ、前回に引き続きリアルとZOOM（リモート）併用のハイブリッド開催となりました。

今回で三回目となるミニプレゼン会には、弁護士の方柳秀勝さん（筑H4人間）と須田和則さん（筑H6人間）が、それぞれ「弁護士は、弁護人だけじゃない」「交通事故にあってしまった場合の法律問題」というテーマでお話してくださいました。

犯罪被害も、交通事故も、我々いつ遭うかわからないので、どういう対応が必要なのか、どこに相談したら良いのか、お話を聞いたことは大変有意義だったと思います。こういった貴重なお話が気軽に聞けるというのも、同窓会ならではです。

若手交流会が発足してから十年が経ちました。第一回から発起人幹事を務めさせていただきましたが、今後については若い方にお任せしたいと思います。この会への参加を希望される方は、神奈川茗溪会事務局、または左記までお知らせください。

wakate@kanagawa-meiei.org

茗溪の水

茗溪との出会い

山本 聡

(S 60 筑教院)



令和3年3月、コロナ禍の中での定年退職となりました。36年間の教員生活、最後はコンピュータ教室からカメラを通して生徒の皆さんに退任のあいさつをしました。

筑波大学には昭和54年4月、第二学群人間学類の5期生として入学し、一の矢学生宿舎で学生生活を始めました。教育学・心理学・心身障害学、それぞれの分野を自由に学ぶことができるのはとても魅力的でした。私は教育学を主専攻とし、卒論は学校カウンセリングについてまとめ、修士課程に進みました。

教員生活は昭和60年4月に社会科の教員として赴任した大磯高校から始まりました。赴任して数年後、石川旭先生が校長として着任され、茗溪会の地区会（当時は神奈川支部会のほか地区会が行われていました）に誘っていたのが茗溪会との出会いでした。

その後、支部会にもお誘いいただきましたが、当時は管理職の先生方の会という印象が強くて敷居が高く、しばらくは疎遠となっていました。平成22年、総括教諭になった頃でしたか、

加藤充洋先生から茗溪会へのお誘いのお手紙やお電話を何度かいただき、それをきっかけに出席させていただくようになりました。

特に管理職になってからは諸先輩方にご指導いただき、皆様に支えられて職を務めることができました。茗溪の繋がりは、いつも心強いものでした。本当にありがとうございます。

現在、総合教育センターで再任用として勤務していますが、学生時代に所属したカウンセリング研究会やそのOB会でお世話になった石隈利紀さん（東京成徳大学教授・筑波大学元副学長）や後輩の諸富祥彦君（明治大学教授）、人間学類でクラス

メートだった渡辺弥生さん（法政大学教授）らが研修講師として来てくれています。昨年、お会いできた方々もいて、一瞬で気持ちちは学生時代に戻っていきましました。これからも茗溪との出会いに感謝しつつ過ごしていきたいと思っています。

豊かな出会い

中野 久美子

(S 57 筑体)

私は、昭和59年に保健体育科教諭として白山高校に着任し、様々な職場でお世話になり、令和2年3月に定年退職致しました。

茗溪の先輩に最初に出会ったのは、白山高校校長の諸星英男先生でした。その後、桐心会に参加させていただき、体育センター勤務を契機に、茗溪会に参加させていただくようになりました。どの会も、会の終わりは「宣揚歌」であり、肩を組んで歌う時、会に参加された方々と、学生時代を共有したような気持ちになりました。

会のお陰で、多くの先輩方、同期の方、後輩の方々と交流を深

め、様々な「支援・」指導をいただきました。時には難しい相談もさせていただきました。管理職として、学校運営に取り組むことができたのも、皆様のご支援、ご指導があつての事と、この場を借りて感謝申し上げます。



卒業後、同期女子と数年に一度のペースで集まっていたのが、2019年の8月に、筑波でバレーボール部の男女1期〜10期の同窓会が行われ、120名ほどが集まり、当時の監督である柄堀伸二先生を囲み懐かしい時間を過ごしました。その際、先生から「定年を迎えてからが、皆さんの充実した時間になりますよ」とのお話があり、元気をいただきました。この会以降、同期でLINEグループを組み、折に触れ連絡を取

るようになりました。趣味の話あり、家庭の話あり、時には、「〇〇県では、コロナの学校対応はどうしている？」などの会話をしています。不思議なくらい昔のまま話せます。そのベースにあるのは、同じ課題に真剣に向き合い、意見や感情のぶつかり合いの中で、お互いを受け止める経験を共有したからだだと思います。今は、「時期が来たら、九州で集まろう」と話しています。茗溪会、茗溪のつながりによって、私は人生を豊かなものにしていただきました。これからも、このつながりを大切にしたいと思っています。

AE えびあや 検索

AE 海老名・綾瀬法律事務所

弁護士 中道 徹 (神奈川県弁護士会)

お気軽にお問合せください!

046-205-3780

〒243-0432 海老名市中央1-8-3 えびすビル4階

親身に対応します

茗溪の水(2)

私は茗溪会で
できている？

添野 龍雄

(s 57 筑農林)

といっても親の話ではありません。
せん。

昭和50年4月、私は東京都立
九段高等学校に大した希望もな
く入学しました。

当時の都立高校は学校群制度
を採用しており、2〜3校がま
とまって合格者を振り分けてお
り、私の受検した11群も、合格
しても日比谷・三田・九段の3
校のどこかに振り分けられるた
め、志望している高校に行かれ
るのは運次第、ということとし
た。日比谷なら当時はだれでも
知っている高校、三田なら家か
ら近い(当時は品川区に住んで
いました)、九段は一番遠い(と
いうか、どこにあるのかも知り
ませんでした)、しかも中学の同
級生の兄が通っていて、1年生
の夏には遊泳訓練があるという
ことを知っており、水泳はあま
り得意ではなかった当時の私に
は非常に心の重いものでした。
しかし、入学してからは、個



性的・魅力的な先生だらけで、
あつという間に、九段に染まっ
てしまい、楽しい高校生活を過
ごしました。水泳も好きになり
ました。

後年、当時の茗溪会会員名簿
を見たのですが、私が高校時代
に授業を受けた先生で、茗溪会
員以外の方は、3人だけでした。
何という(驚異の)高校であり、
今から思えば茗溪漬けの高校生
活が私の人格形成に大きく寄与
したのではないかと勝手に思い
込んでいます。

担任(もちろん茗溪・保健体育)
に勧められ、筑波大学を受験し、
奇跡的に農林学類(当時模試の
合格可能性は4%以下)に合格
し、その後、縁あって神奈川県
の教員(農業)となり(実は生まれ
は神奈川県逗子市)、昭和57年か
ら中央農業高校15年、平成9年
から平塚農業高校4年、平成13
年から県教育委員会高校教育課
指導主事(農業・水産担当) 2

年、平成15年から文部科学省国立
教育政策研究所教育課程研究セ
ンター教育課程調査官9年、平成
24年から平塚農業高校教頭2
年・副校長2年・校長2年、平成
30年から中央農業高校校長2
年・校長(再任用)2年と40年勤
め、令和4年4月から平塚農商高
校の教諭(再任用)として勤務し
ております。高校・大学・教育現
場・行政と学びや仕事のどのステ
ージにおいても、茗溪会員の皆様
に助けられ、連携し、時には厳し
い助言を受けながら成長するこ
とができたと思っています。

指導主事時代に、現在の茗溪12
月会に初めて出席させていただ
いた時は、筑波大出身は自分だけ
であつたと記憶しております。そ
の後の文科省時代も、同会には毎
年お誘いいただき、可能な限り出
席させていただき今に続いてお
ります。

21年ぶりに教壇に立ち、元教え
子の同僚に囲まれ、当時担任した
生徒のお子さんの授業を持つな
ど、農業分野でも、今まで教えた
ことのない科目ばかりですが、充
実した生活を送っております。
が、指導主事・調査官・管理職と
して理想としていた教育をどこ
まで教員として実現できるかと
いうことにも取り組んでいかな
ければならないと思っています。
久々の板書で肩の張る日々です
がまだまだ続く教員生活。

神奈川で開かれた

茗溪の集い

第5回

ゴルフコンペ

大畑 多津雄

(s 52 教大数)

11月19日(金) 秦野市にある東
京カントリー倶楽部で、第5回神
奈川茗溪会親睦ゴルフコンペを開
催しました。当日は天候に恵まれ、
ゆったりとした自然の中で気持ち
よくプレーを楽しむことができました。

この会も5回目となりました
が、11月の平日に実施しているこ
ともあって参加できる会員も限ら
れますが、それでも毎年3組また
は4組のコンペで実施してきまし
た。ゴルフの上手下手に関係なく、
茗溪の流れに身をおく者同士とし
て、楽しく充実した時間を過ごし
ました。

今年も11月中下旬に実施を予
定します。参加を希望される方は
大畑まで連絡をお願いします。(電
話 090-4540-0682)

参加者と組合せ(敬称略)

【1組】

落 信久 (s 43) 教体
坂本紀典 (s 51) 教健

大畑多津雄

【2組】

新木康稔 (s 41) 教体
鈴木克己 (s 39) 教生
林 忠 (s 58) 筑一自
熊澤 茂 (s 45) 教農工

【3組】

大辻 昇 (s 42) 教総農
水江彰一 (s 37) 教英
来山隼生 (s 39) 教農経
高橋正一 (s 42) 教総農



(重要)

会員の皆様

神 奈 川 茗 溪 会
会 長 大畑 多津雄

神奈川茗溪会総会と懇親会のご案内

青葉若葉のみぎり、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。

さて、2年間コロナの影響で対面での実施を控えておりました神奈川茗溪会の総会ならびに懇親会を、下記の要領で開催いたしますので、ご参集くださいますよう、ご案内申し上げます。

また、昨年少しでも安定した収入を目指してご承認いただきました「御芳志」につきましては、支部会費の納入の折に、加えて納金いただきますように、ご協力をお願いいたします。

記

開催日時 令和4年7月23日(土) 11:00～(受付10:45)

開催場所 ローズホテル横浜 (TEL 045-681-3311)

●JR根岸線「石川町駅(北口)」より徒歩10分 ●みなとみらい線「元町・中華街駅」より徒歩1分

日 程

役員会 10:00～10:45 総 会 11:00～12:00

講演会 12:00～13:00 懇親会 13:15～15:30

懇親会費等(当日、受付にて申し受けます)

10,000円(支部会費1,000円を含みます) + 御芳志

*本部会費3,500円の納入も受け付けております。

出欠席につきましては 7月8日(金)までに、返信用葉書にてお知らせください。

*支部会費納入のお願い

当日参加できない方は、同封の払い込み用紙にて支部会費(1,000円)および御芳志(任意)の合計額をご自身でご記入いただき、振込いただきますよう、お願い申し上げます。

事務局長 大石 進 (s56 筑体) 090-1536-1745 ssuoishi-5812.syk@docomo.ne.jp

川崎地区【川崎市】

委員 西村 宗一郎 (s51 教大植) 045-362-7010

委員 南 敏章 (s52 教大数) 045-945-2086

横浜地区【横浜市】

委員 佐々木 悦子 (s46 教大体) 045-784-0670

委員 望月 正大 (s51 教大数) 045-812-0281

横三・湘鎌地区【横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡、茅ヶ崎市、藤沢市、高座郡】

委員 鈴木 彰 (s49 教大地) 0467-52-5354

委員 瀬木 明 (s52 教大応数) 090-1040-3612

平秦・西湘地区【平塚市、小田原市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、南足柄市、秦野市、伊勢原市】

委員 細谷 俊一 (s47 教大生化工) 0465-77-2046

委員 山田 和彦 (s53 教大農) 046-288-1560

北相地区【厚木市、海老名市、綾瀬市、大和市、座間市、相模原市、愛甲郡、神奈川県外】

委員 大島 恵子 (s46 教大植) 042-715-0317

委員 本木 幹雄 (s50 教大体健) 090-3817-3402

会員訃報

(令和3年7月以降)

丸山富三男 (s19 理一)
甲斐平八郎 (s25 農教)
大熊昭三 (s26 文二)
下河原五郎 (s30 院修植)
小林繁 (s30 教大化)
西田克己 (s33 教大地)
金子信男 (s38 教大哲)
中本明生 (s43 教大國)
生沼芳弘 (s49 教大体)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

【事務局より】

会員の皆様からの寄稿を受け付けております。是非、事務局までお寄せください。